

九州女子大学 人間科学部

児童・幼児教育学科の学びを紹介

～「障害児保育」～

「障害児保育」では、障害児をめぐる保育・教育の歴史、特別支援教育・インクルーシブ教育への展開、保育の専門性を活かした発達支援の方法および地域資源との連携による子どもと保護者を支援する方法を学びます。障害の特徴を学生自身が体験的に理解できるよう、体験ワークや実践事例を用いて授業を展開しています。



授業風景①

発達支援に関するテーマをグループで決め、資料を精読し、学習成果発表・プレゼンの準備を行います。



Voice *授業担当・松本先生より*
臨床心理士、児童発達支援事業所での実務経験を活かした授業を行なっています。子どもと保護者を支える仕事に就きたいと思っている皆さんが、九女に入ってよかった!と思える授業となるよう心がけています。



授業風景②

グループの一人ひとりが能動的に行動し、自分の考えをしっかりと伝え合うことを通して学びを深めていきます。